

NPO法人日本医師事務作業補助研究会

第7回 愛知・岐阜地方会 アンケート結果

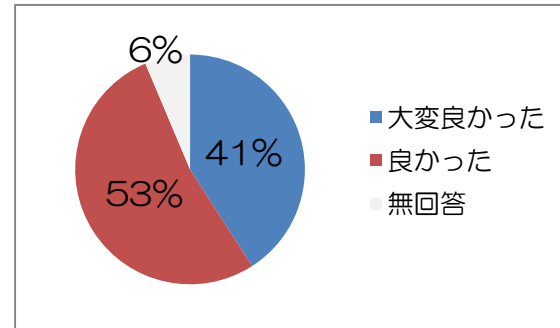
平成30年6月30日（土）羽島市民病

院

NPO法人日本医師事務作業補助研究会 第7回愛知・岐阜地方会に参加いただきありがとうございました。
参加者115名のうち110名の方から、アンケートの回答をいただきました。

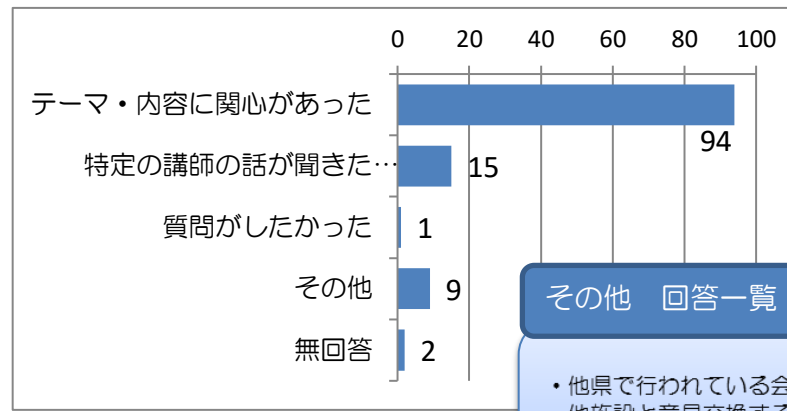
1、 地方会全体について

| | 回答数 | 割合 (%) |
|--------|-----|--------|
| 大変良かった | 45 | 40.9 |
| 良かった | 58 | 52.7 |
| 無回答 | 7 | 6.4 |
| 合計 | 110 | 100 |



2、 参加を決めた理由は何ですか？（複数回答可）

| | 回答数 (件) |
|----------------|---------|
| テーマ・内容に関心があった | 94 |
| 特定の講師の話が聞きたかった | 15 |
| 質問がしたかった | 1 |
| その他 | 9 |
| 無回答 | 2 |
| 合計 (複数回答) | 121 |

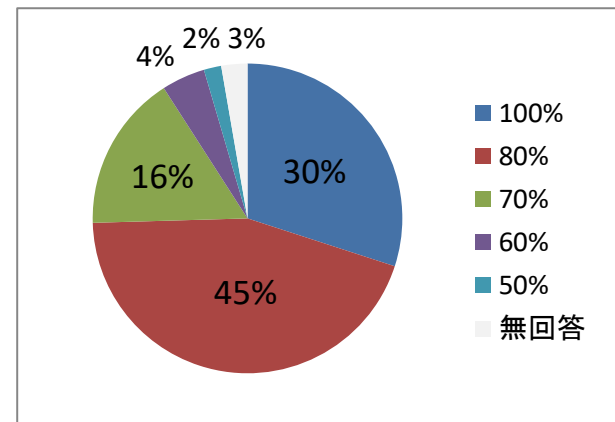


その他 回答一覧

- ・他県で行われている会に関心がある
- ・他施設と意見交換する機会を求めて
- ・初めての参加、勉強中だから

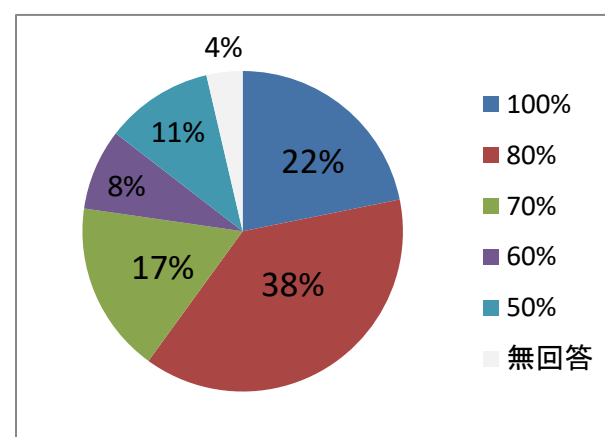
3、 医師による医学講座の満足度は何%ですか？

| | 回答数 | 割合 (%) |
|------|-----|--------|
| 100% | 33 | 30 |
| 80% | 49 | 44.5 |
| 70% | 18 | 16.5 |
| 60% | 5 | 4.5 |
| 50% | 2 | 1.8 |
| 無回答 | 3 | 2.7 |
| 合計 | 110 | |



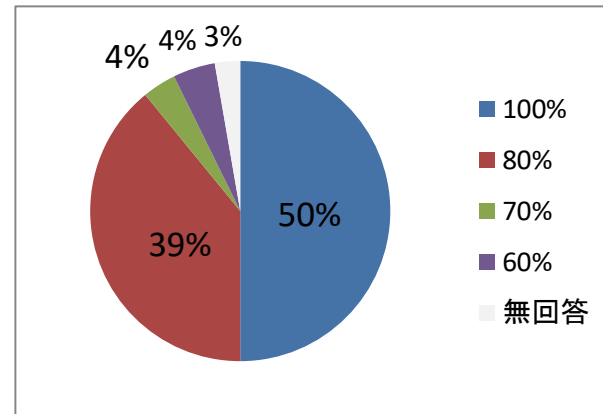
4、 「NCDについて～医師事務作業補助者への期待」の満足度は何%ですか？

| | 回答数 | 割合 (%) |
|------|-----|--------|
| 100% | 24 | 21.8 |
| 80% | 42 | 38.2 |
| 70% | 19 | 17.3 |
| 60% | 9 | 8.2 |
| 50% | 12 | 10.9 |
| 無回答 | 4 | 3.6 |
| 合計 | 110 | |



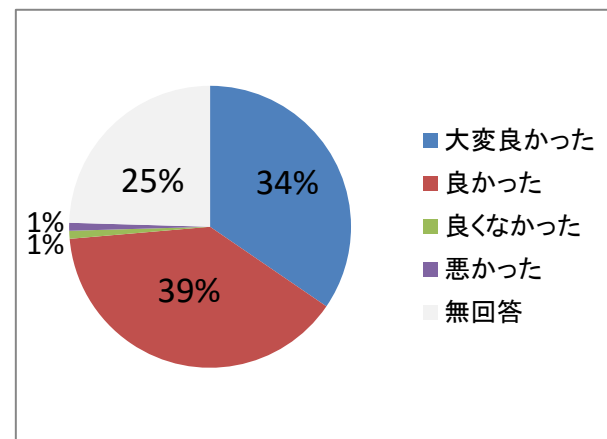
5、 「医師の働き方改革と医師事務作業補助者の役割」の満足度は何%ですか？

| | 回答数 | 割合 (%) |
|------|-----|--------|
| 100% | 55 | 50 |
| 80% | 43 | 39.1 |
| 70% | 4 | 3.6 |
| 60% | 5 | 4.5 |
| 50% | 0 | 0 |
| 無回答 | 3 | 2.7 |
| 合計 | 110 | |



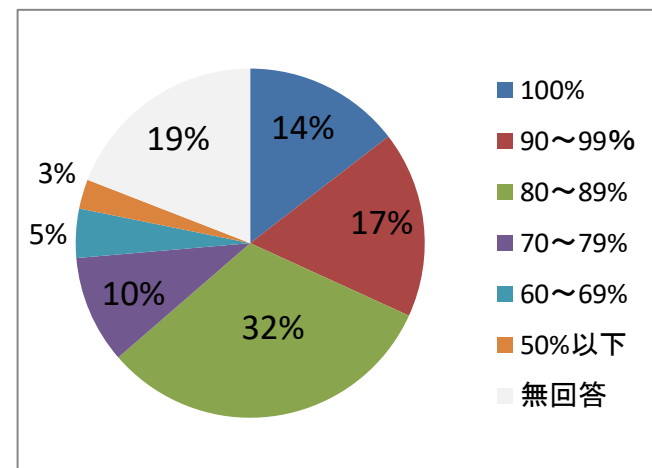
6、 意見交換会はいかがでしたか？

| | 回答数 | 割合 (%) |
|--------|-----|--------|
| 大変良かった | 38 | 34.5 |
| 良かった | 43 | 39.1 |
| 良くなかった | 1 | 0.9 |
| 悪かった | 1 | 0.9 |
| 無回答 | 27 | 24.5 |
| 合計 | 110 | |



7、 あなたの満足度は何%ですか？（よろしければ、理由も一言そえてください。）

| | 回答数 | 割合 (%) |
|--------|-----|--------|
| 100% | 16 | 14.5 |
| 90~99% | 19 | 17.3 |
| 80~89% | 35 | 31.8 |
| 70~79% | 11 | 10 |
| 60~69% | 5 | 4.5 |
| 50%以下 | 3 | 2.7 |
| 無回答 | 21 | 19.1 |
| 合計 | 110 | |



理由（感想）

- ・ 今後何をすべきか手掛かりを掴んだ、方向性がみえた
- ・ 他施設の話が聞いて良かった
- ・ 医師事務の役割を理解できた
- ・ 医学講座で学べ良かった
- ・ NCDについて話が聞いて良かった
- ・ 医学講座が分かり易く勉強になった
- ・ 働き方改革を聞き、業務の見直しを図りたい
- ・ 全体的に興味がある内容で参加して良かった
- ・ 講義内容や意見交換は大変満足だが、名刺を忘れ残念
- ・ 今一番知りたかったことが分かった
- ・ 他施設の人と話すことで自分の視野が広がった
- ・ 医師事務の重要性や課題を学んだ
- ・ 自分の業務と同じ分野の内容で大変興味深かった
- ・ 自分の悩みが解消できた
- ・ 現状に満足せず勉強し続けたい
- ・ もっと情報に敏感になり、横の繋がりを大切にしたい
- ・ 小林先生の話が聞いて良かった

理由（ご意見・要望）

- ・ 医学講座をもう少し聞きたかった、もっと時間が欲しい
- ・ 循環器の医学講座が難しかった
- ・ 期待したNCDが思った内容と違い面白くなかった
- ・ NCDは携わっていないので、難しかった
- ・ 診断書や代行業務に役立つ情報が欲しかった
- ・ 講演の時間配分をもう少し考え話して欲しかった
- ・ 実務的内容も1つは入れて欲しい
- ・ 開催地が遠方なため大変だった

(*同様の意見はまとめさせていただきました)

8、 今回の地方会で、あなたにとって一番印象的だったことは何ですか？

プログラム内容に関して

- 冠動脈や心疾患についての医学講座は直接役立つ
- NCDについての講義
- 医師事務の業務力の増大
- 医師の働き方改革の内容
- 介護主治医意見書のアンケートについて採用を検討
- 今後のキャリア、働き方への道筋がみえた
- スキルアップの大切さ
- 問診票や予診の大切さ（難病や介護）
- 医師事務の役割とあり方、そして今後の業務
- 小林先生と話が出来、名刺交換できたこと
- 小林先生の静岡のクラークを育てる会に参加したい
- 多方面から見た小林先生の考え方
- 小林先生の楽しさ
- IT利用による医師事務の業務効率化する重要性
- 指導医クラスをサポートする大切さ
- クラークの仕事が働き方改革に直結していること
- 他病院との業務内容や悩みを意見交換できたこと
- 他院との業務分担の違い
- 矢口理事長の資格化やキャリアパスについての話

その他

- 場所によって画像が見にくかった
- 資料の画像コピーが不鮮明
- 土曜日は午前中の業務があり途中参加となる
- 他地域からも参加している事
- 多くの参加者がいること
- 全体的に仲間意識がUPしていたこと
- 会場が病院でアットホームな感じで良かった
- 資格化にすると大変になる

(※同様の意見はまとめさせていただきました)

9、 今回の地方会についてのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

感想

- NCD業務を口頭のみで引継ぎ、講演で重要性を認識しマニュアル整備することを検討
- 他院の状況を聞いて良かった
- 意見交換会で業務に役立つ具体的な意見や他院の実態等を聞いて良かった
- 初参加だった、とても勉強になった
- 医学講座は今後の業務に役立つ
- NCDが身近になった
- 時間があつという間に感じた
- 医学講座が診断書や紹介状作成時の参考になった
- 小林先生の講演が有意義だった
- どの講演もコンパクトでたくさん聞いて良かった
- テーブル内で活発な意見交換ができた
- 今後の医師事務のあり方について大変勉強になった
- 他病院の前に進もうという考えが参考になった
- 今さら聞けないことを聞いた
- 毎回小林先生の意見は勉強になる。日々進化する医療現場や医師事務の関わり方についてもっと知りたい
- フリートークのディスカッションが出来良かった
- 今後更に知識を増やし、医師と仲良くなりたい
- 益々知識を深めないといけないと思った
- 医師をサポートする＝医師の働き方をサポートするを再認識医師の働きすぎを考慮したい
- 診断書について他施設の意見が聞いて良かった

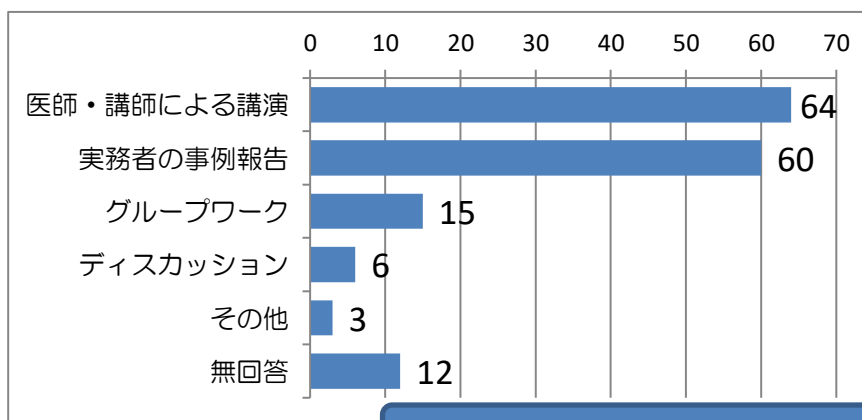
意見・要望

- 会場が寒かった、話に集中できなかった
- 年2回程度の実施を要望
- 意見交換会の時間を長くして欲しい
- NCDについて入力等具体的に聞きたかった
- 多くの病院と意見交換したいので、席を決めて欲しい
- 循環器のアブレーションの講義が聞きたかった
- 院内の会場案内が見つげにくかった
- 医学講座が時間切れで途中になって残念
- 資料の細かい字が見にくかったので、見やすくして欲しい
- 資格化について進めて欲しい
- 三重県の開催を希望
- 医局との連携が不可欠で医師にもっと理解して欲しい
- 業務に活かしていける努力や周りの理解が必要
- 医師事務の人員不足と個々のスキルの違いで働きづらい
- 会場を探すのに時間がかかった
- 肺疾患について学びたい
- 机の配置を考えて欲しい
- 診断書内のJコード等について勉強できる場が欲しい
- 意見交換会のグループ替えをして多くの病院と交流したい
- どこにどの施設の人が座っているか表示して欲しい
- NCDの話がよく分からなかった

(※同様の意見はまとめさせていただきました)

10、 今後、参加したいと思う内容の地方会はどういう形式ですか？

| | 回答数 |
|------------|-----|
| 医師・講師による講演 | 64 |
| 実務者の事例報告 | 60 |
| グループワーク | 15 |
| ディスカッション | 6 |
| その他 | 3 |
| 無回答 | 12 |
| 合計（複数回答） | 160 |



その他 回答一覧

- ・保険会社の診断書内の項目に関する講座
- ・同じ仕事内容同志の意見交換会
- ・管理者のためのグループワーク

11、 今後、取り上げて欲しいテーマはありますか？

業務

- ・実務指導
- ・NCD、がん登録
- ・脾臓について
- ・各科の代表的な疾患をローテーションで学ぶ
- ・代行入力等診療時に就く方法
- ・NCD入力の一歩踏み込んだ内容
- ・難病や介護主治医意見書の作成について（項目の解釈）
- ・整形のOPEについて（ギブス種類や材料も含め）
- ・業務に直結した書類作成やカルテ入力について
- ・医師事務のできることに、やっていることを具体的に
- ・他部署より業務依頼された場合の許容範囲
- ・キャリア別グループワーク
- ・医師事務と情報管理士の共有業務について
- ・休暇取得時の体制やローテーション等フォローについて
- ・脾臓、肺疾患について
- ・医師が求める業務内容を具体的に
- ・医師以外の職種との関わり方
- ・医師事務業務の成功例と失敗例
- ・クラークの現状
- ・診療科別仕事量を平均化する方法
- ・慢性期、在宅診療、療養病棟を有する病院での役割や実例
- ・病名登録の関わり
- ・多様な医学講座
- ・膠原病等の難病疾患
- ・医師と医師事務の関係性、医師記録のあり方
- ・高齢化に向けてのテーマ

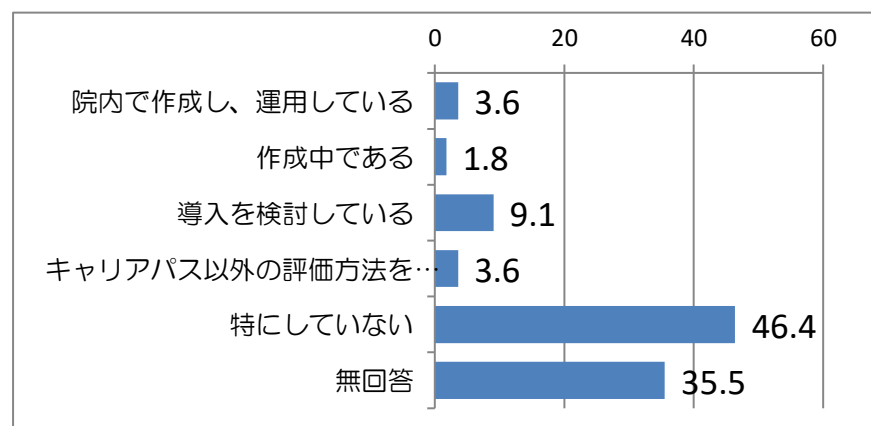
人材・教育

- ・教育制度、方法について
- ・教育（育成） マネジメント
- ・多職種との連携方法や教育方法
- ・新人教育について
- ・組織の組み立て方
- ・32時間研修の実施について
- ・人材確保（公立病院）への対策
- ・人材育成について
- ・医師事務の働き方
- ・管理者向けのテーマ
- ・医師事務の教育に必要なもの
- ・キャリアアップの具体的方法
- ・若手の育成方法
- ・医師向けのクラーク活用術

（*同様の意見はまとめさせていただきました）

12、 キャリアパスについて

| | 割合 (%) | 回答数 |
|----------------------|--------|-----|
| 院内で作成し、運用している | 3.6 | 4 |
| 作成中である | 1.8 | 2 |
| 導入を検討している | 9.1 | 10 |
| キャリアパス以外の評価方法を導入している | 3.6 | 4 |
| 特にしていない | 46.4 | 51 |
| 無回答 | 35.5 | 39 |
| | 100 | 110 |



NPO法人日本医師事務作業補助研究会 第7回 愛知・岐阜地方会 開催報告

平成30年6月30日（土）羽島市民病

院

テーマ 『一步先の専門知識を身につけよう』

愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、京都府、石川県から115名の方にご参加頂きました。

開会あいさつ 羽島市民病院 院長 大角 幸男先生

医師による医学講座「～虚血性心疾患の診療と診断～」

羽島市民病院 院長 大角 幸男先生

虚血性心疾患の定義、分類、診断のための検査、治療について、レントゲン、心電図、冠動脈造影など、実際の画像を提示いただき、わかりやすく講義していただきました。時間の関係で、アブレーションの講義が聞けなかったことが非常に残念でした。機会があれば、続きを是非お願いしたいです。



「NCDについて～医師事務作業補助者への期待」

慶応義塾大学医学部医療政策・管理学的研究室 高橋 新先生

NCDを振り返ろう、入力的重要性、データの質担保、医師事務作業補助者への期待 についてご講演頂きました。高橋先生は、当研究会の調査部も担当しており、2017年に当研究会が行ったアンケートでは、医師事務作業補助者の全体の20%ほどが、NCD入力に携わっているという結果でした。実際、当日会場にいた参加者も、20%ほどが、NCD業務に携わっているようでした。マニュアル整備の大切さを学び、今後NCD業務を始める人にとっても、参考になる講演でした。



「医師の働き方改革」と医師事務作業補助者の役割～診療報酬改定による追い風？～

浜松医科大学医学部附属病院 医療福祉センター長 小林 利彦先生

平成30年度の診療報酬改定では、医師の働き方改革が注目されており、医師事務作業補助者がいかに貢献出来るかをお話いただきました。診断書を作成する際に、どこに何が書いてあるかわからないデータを探すことは、時間がかかります。予診、問診票の活用次第で、医師事務作業補助者の業務も効率化することが可能となります。医師の働き方のみならず、医師事務作業補助者の業務も効率化が必要です。今後の医師事務作業補助者の発展には、このような地方会に参加することで、横のつながりを作ること、『仲間作りが重要』だと、お話しいただきました。



意見交換会

今回は、特にテーマを決めずに、自由に意見交換して頂きました。はじめに、愛知県、岐阜県以外から参加された方の中から、各県を代表して、1名ずつ参加した理由、業務内容などをお話して頂きました。意見交換会では、業務内容、悩みなど、他施設の意見を聞いて良かった。もっと、時間がほしかった。など、感想をいただきました。



「研究会からのお知らせ」

NPO法人日本医師事務作業補助研究会 理事長 矢口 智子

これまでの活動報告、今後の取り組みについて、お話しいただきました。医師事務作業補助者の課題である、「職種確立」のためには、活動に賛同いただける一人でも多くの方に、会員となって頂くことが重要となります。

ご挨拶

最後になりますが、羽島市民病院 院長 大角先生、副院長 大宮先生をはじめ、羽島市民病院の皆様、運営協力ありがとうございました。この場をお借りし、深く感謝申し上げます。愛知・岐阜支部は、これからも、年2回、医師事務作業補助者の知識向上、モチベーションアップとなるような地方会を企画したいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

